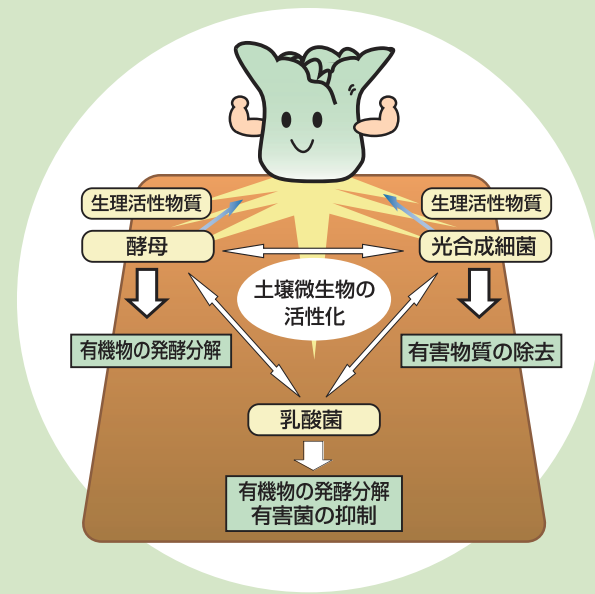


土壌活性化のメカニズム

EMに含まれる乳酸菌、酵母、光合成細菌は互いに共生しながら、土壌の微生物を活性化させます。その結果、腐敗菌の抑制、有機物の発酵分解の促進、作物へ生理活性物質の供給をします。
EMを使用すると土が蘇り、根量が増加して作物が元気になります。



皆様からの使用例を一部ご紹介します。

ミズナ栽培 徳島県 O様

圃場に使用する堆肥にEM活性液*を散布することで臭いが軽減できました。播種後から生育中期まで、EM活性液*とEM・7を散布することで初期生育が促進し、例年困っていた虫害が軽減できました。



家庭菜園 徳島県 Y様

畑にボカシを入れて畝立てし、ビニールマルチで伏せ込みした後、定植または播種。追肥はEMボカシ散布し、EM活性液*とEM・7を随時散布しました。EM・7を添加すると葉の色とつやが非常に良くなると実感しました。



ミカン栽培 愛知県 S様

病害虫対策として葉面散布が必要な時は常にEM・3とEM・7を同時に散布し、予防効果を高めるようにしています。特に収穫の1ヶ月くらい前から葉面散布を行うことにより、収穫期の樹勢が維持でき、みかんの実がしっかりと重くなり、収穫量が多くなりました。また着色も良くなり、糖度も高く、品質も向上しました。



稲作栽培 愛知県 N様

稲作への散布は出穂40日前頃と20日前頃に行うことにより、稲穂の生育が促進され、千粒重が増えました。散布資材は、EM活性液*とEM・7を添加して散布しました。



※EM活性液……EM・1と糖蜜と水を混ぜ、発酵させてEMを活性化させたもの。

【お問い合わせ】
株式会社 EM研究所
〒421-1223 静岡県静岡市葵区吉津666
TEL 054-277-0221 (代表)
<http://www.emlabo.co.jp>



※EM・1、EM・2、EM・3の写真はそれぞれ1ℓ、EM・7の写真は500mℓのものです。

EMシリーズ

EMとはEffective Microorganismsの略語で、有用な微生物群という意味の造語です。好気性と嫌気性の微生物（主な微生物は乳酸菌群、酵母群、光合成細菌群）を複合培養したものです。化学的に合成したものを一切使用しておりませんので、自然農法、有機農業にも安心してお使いいただけます。

製造・販売元 株式会社EM研究所

環境保全型農業を目指す 農家の皆様へ

EMのもたらす蘇生の力で水や土壌を改良、農作物や家畜をますます活性化します。

20世紀は開発の時代、21世紀は環境の時代といわれています。国の政策も、資源循環型社会の構築、環境保全型農業の推進、自然再生推進法の制定など、環境を重視する方向に変わりつつあります。

しかし現実には、地球の温暖化、身近な動植物の絶滅、土や水や大気などの環境汚染や破壊などが進んでいます。

このような環境問題の解決には、従来の常識とは異なる発想と技術が必要です。

ますますクリエーティブに技術革新を続けるEMシリーズ、ぜひご利用ください。

環境保全型農業を目指す方へ

EM・1TM

有用微生物土壌改良資材

有機JAS適合資材・A飼料

EM・1の働き

EM・1は、好気性と嫌気性の微生物（主な微生物は乳酸菌群、酵母群、光合成細菌群）を天然材料で複合培養したものです。これら種々の微生物の働きが有機物の処理、環境中の微生物の活性化を行い植物の栽培、家畜の飼育に好影響を与えます。

使用場面		EMの使用法
土作り	耕起	堆肥などとともに作物残さを畑にすき込んで耕起し、EM・1を1ℓ/10a散布（定植1ヶ月以上前）
植え付け準備	施肥 畝立て	作物残さ、雑草、有機肥料などを軽く地表面にすき込んで畝立てし、EM・1を1ℓ/10a散布（定植1ヶ月以上前）
育苗期	種子処理	播種前に種子を水洗いし、EM・1の2000倍希釈液に30分浸漬後、陰干しする
	管理	かん水の水にEM・1を2000倍希釈液になるように添加し、散布する（葉面にも同時に散布）
定植期	定植	定植前にEM・1の2000倍希釈液に苗をつけ込ませ定植
生長期	管理	かん水の水にEM・1を1000倍希釈液になるように添加し、適宜散布（葉面にも同時に散布）



製品価格
500ml …… 1,048円+税
1ℓ …… 2,000円+税
10ℓ …… 19,000円+税

日当たりの弱い場所の方・さらに根ばりを良くしたい方へ

EM・3TM

有用微生物土壌改良資材

有機JAS適合資材

EM・3の使用法
葉面散布
土壌施用

【散布方法】EM・3を1000倍以上に薄めて散布します。EM・1、EM・2と併用して散布ください。
本葉展開以降 7～10日毎に散布します。

【施用方法】10a当たり1ℓを、500～1000倍の水で希釈して土壌に散布します。EM・1とEM・2の1000倍希釈液と併用してください。

【施用時期】土作りで有機物を投入した時や作物の生育後半や果実の充実期に使用します。水稻では、田植え直後と出穂1ヶ月前がポイントです。



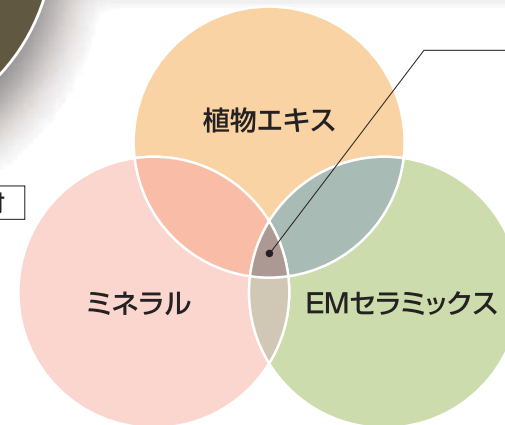
製品価格
1ℓ …… 2,000円+税
10ℓ …… 19,000円+税

EM・3は、天然材料を原料として光合成細菌を主体に培養したものです。土壌に有機物を投入した際の作物への悪影響を軽減します。また、有用な放線菌の増殖を助け、作物の生育に適した土壌環境づくりを促進します。

葉面散布 作物の活力をアップ

EM・7TM

植物活力材
有機JAS適合資材



EM・7は厳選された植物エキス、EMセラミックス、ミネラルをEM技術で統合させ、強い抗酸化力を有した全く新しい植物活力材です。



製品価格
80ml …… 1,200円+税
500ml …… 6,000円+税

EM・7の使用法	育苗	【散布方法】果菜類には1000倍、葉菜類には2000倍以上に薄めて散布します。EM・1の1000倍希釈液と併用してください。かん水の度に使用します。
	葉面散布	【散布方法】EM・7を5000～10000倍に薄めて散布します。EM・1と併用して散布してください。定植後、2～3日毎に、その後は7～10日毎に散布します。病害虫の発生など植物の活力が落ちていると思われる場合は、植物の持つ抗酸化力を引出すように3日ほど連続して散布します。

さらに根ばりを良くしたい方へ

EM・2TM

有用微生物土壌改良資材

有機JAS適合資材

EM・2の使用法
種子処理
葉面散布

【使用方法】EM・2の100倍希釈液に種子、種芋を30分ほど浸し、播種します。苗もEM・2の100倍希釈液に浸し定植します。EM・1の2000倍希釈液と併用してください。

【散布方法】EM・2を1000倍以上に薄めて散布します。EM・1、EM・3と併用して散布ください。
本葉展開以降 7～10日毎に散布します。



EM・2は、天然材料を原料として各種有用微生物が生成する生理活性物質や酵素の働きを強化したものです。土壌中でこれらの有効物質が生育促進や品質向上などに作用します。

製品価格
1ℓ …… 2,000円+税
10ℓ …… 19,000円+税

！ EMシリーズ使用上の注意

